

2013年10月

## 医歯薬通信 SANS FRONTIERES vol.14

水戸葵陵高等学校ホームページ <http://www.kiryo.ac.jp/>

### はじめに

2007年英医学誌 British Medical Journal に興味深い論文が掲載されました。それはインディアナ大学チームによる、米国で一般によく信じられている体に関する言い伝え7つについて医学的裏付けが無いばかりか、誤りもあるとする研究でした。それら7つの中には、私たち日本人の間でも広く信じられていたものがありました。いくつかを挙げると、「私たちは脳の10%しか使っていない」「毛や爪は死んでからも伸びる」「暗いところで本を読むと目が悪くなる」「携帯電話は病院の医療機器に影響する」・・・といった事柄です。これらはいずれも科学的に根拠のないものであると発表されたのです。それにも拘わらず、現在でもなお、人口に膾炙しているものもありますね。こうした言い伝えを信じるだけなら実害はないですが、これらをもとにした根拠のない治療法が勧められたら大変なことになるでしょう。以下には日本人の間に信じられている体に関する「都市伝説」とでも呼ぶべき、根拠の不明瞭な言い伝えを挙げておきます。皆さんも聞いたことがありますか？

「ブルーベリーは目によい」「白髪は抜くと増える」「骨折した箇所が治癒した場合、骨は以前より強くなる」「炭酸飲料を飲むと骨が溶ける」「扇風機を付けたまま寝ると死ぬ」

「床に落とした食べ物は5秒以内であれば食べても安全」,etc

勿論、言い伝えの全てが科学的根拠のない出鱈目・迷信という訳ではありません。先人達の経験知の産物としての言い伝えは大切にすべきです。但し、能う限り科学的に実証するという過程を踏んだ上で。

### 日立さくらロードレース

平成25年4月14日(日)に日立市体育協会主催の日立さくらロードレース大会が行われ、医歯薬コースの2・3年生が30名がボランティアに参加し計測タグの回収作業を担当しました。ランナーのシューズに取り付けたタグをペンチで取り外すのですが、生徒は慣れない作業で手にマメを作りながらも、大きな声で完走したランナーを呼び込み労をねぎらっていました。ランナーにも感謝の言葉を掛けられ、やりがいのある充実した1日となったようです。



### 進路講演会

平成25年4月20日(土)に、2,3年の保護者を対象に進路講演会が開催されました。講師として河合塾松戸校舎長渡邊郁夫氏をお招きし、「2013年度医歯薬・理工入試総括と保護者としての心構え」について、ご講演いただきました。2年生は、理系科目が新課程となり、入試形式の変更等についても詳しい説明がありました。

### 茨城県立医療大学出張模擬授業



5月27日に茨城県立医療大学の理学療法学科と放射線技術科学科の先生に来校していただき模擬授業が行われました。理学療法分野では運動療法や物理療法などで患者の機能回復・維持・予防を図るが、その範囲は広く状況に応じた実践が重要だと伝えられました。放射線技術科では最新機器から分析できる身体の情報やガンの治療法とその経過まで講義していただきました。今回の授業を受講し医療従事者を志す者として必要となる責任感をあらためて実感することができました。

### モザイクアート

医歯薬コースは、毎年、文化祭でモザイクアートの作成に取り組んでいます。これは、写真データをパソコンで特定色のモザイク画に変換し、変換データに沿って、色紙の正方形ピースを模造紙の台紙の上に手作業で貼っていくというものです。今年のモザイクアートのテーマは「ロンドン」です。2012年度の2学年から、修学旅行の行き先に、ロンドンが加わりました(従来のパリにももちろん行きました)。この風景に写っている時計台は、昨年のエリザベス女王即位60周年を記念して“エリザベスタワー”に改名されました。本校もまもなく30周年を迎えるということで、まだまだ続く葵陵高校の今後の更なる活躍に期待しています。すばらしい作品が出来たことを、嬉しく思います!!(モザイクアート実行委員長)



## 1・2年生学習合宿

8月の後半、行方市のレイクエコーに於いて1, 2年それぞれ3泊4日の日程で学習合宿を行いました。午前9時より午後6時まで講義, 演習。8時から自主学習。実力向上を図ると共に, 自ら課題を設定し, 学習していく方法を見出し, 長時間の学習に取り組む集中力を養います。また, 集団行動を身に付け友人との交流を深めるまたとない機会として意義のある行事です。



## 1日医師体験・看護体験

夏期休業中に水戸市の城南病院において1, 2年生の生徒が



一日医師体験に参加しました。2年生の中には二度目の参加となる生徒もいました。そこではデイケアの体験や, 医師や看護師との会談を通して, 地域医療の大切さを学ぶことができましたようです。「今回は二度目の医師体験でしたが, 以前より多くの体験ができたので, とても充実した実習でした。患者さんと共に食事をとったり, 訪問看護に付添として参加させていただき, 改めて医療の大切さを実感しました(生徒 感想抜粋)」

また, 茨城県看護協会主催の一日看護体験が実施され, 夏休み期間に県内の医療機関において本校から21名が参加しました。実際の現場を見学することは重要なことで, さらに医療について理解を深めたようです。

## 教えて先輩

平成25年8月9日(金)に本校卒業生16名が本校を訪れ, 後輩達のために, 高校での学習方法, 受験勉強, 大学生活や大学での授業や実習の様子について質問を交えながら交流を図りました。在校生は興味関心のある学部を選択し, 先輩の話をメモしたり休み時間には直接質問をしたりしながら, 今後の自分の将来をイメージすることができたようです。グループは以下の通りです。

- I : 医学部 (筑波大, 東京医科大, 日本大, 福島県立医科大)
- II : 看護学部 (順天堂大, 昭和大, 防衛医科大)
- III : 歯薬学部 (東京薬科大, 鶴見大)
- IV : 医療学部 (茨城県立医療大, 慶応大, 杏林大 国際医療福祉大, 筑波大,)



## 1日お-4-4

9月20日に1・2学年の医歯薬コースの生徒129名で東京都にある日本科学未来館とパナソニックセンター東京に行きました。日本科学未来館では宇宙空間を表現する展示に圧倒されつつも, ロボットや最先端と生命と

のつながりに触れ, 未来の社会や暮らしのイメージを膨らませることができました。パナソニックセンター東京では理科の面白さを体感できる魅力的なアトラクションに楽しみながら参加し, 普段とは違った視点から学習が役立つ様子を肌で感じる事ができました。



## 総合学習発表会



9月27日(金)に総合学習の発表会を行いました。今回は2年生が興味のあるテーマについて自由に調べ学習をし, 1年生にパワーポイントを用いて発表しました。活発な質疑応答が行われ, 1, 2年生の交流がさらに深まりました。研究テーマは以下の通りです。「アップル社の成功と失敗」, 「黄金比」, 「方言と標準語」, 「コンタクトレンズの危険性」, 「睡眠について」, 「ウイルスの脅威」, 「ディズニー人気の秘密」, 「汗のメカニズム」, 「心地よい睡眠とその効果」, 「笑顔が周囲に与える影響」, 「日本の新幹線の安全性と将来性」

## 推薦図書

『この道を生きる, 心臓外科ひとすじ』 天野篤 (NHK 出版新書)  
「この道を行けばどうなるものか。…迷わず行けよ, 行けばわかるさ。」この言葉をみなさんは知っているだろうか?アントニオ猪木さんが引退セレモニーで朗読したメッセージの一部分である。大の猪木ファンである作者は大きな決断をする前に必ず胸で唱えるという。天皇陛下の執刀を決断したときもそうであったと。この言葉は, ただ無鉄砲に進むのではなく, チャンスを逃がさないためにいつ何時でも努力を重ね, ベストを尽くしているからできることなのである。もちろん自信があり成功するつもりで進むのである。エリートでなかった作者が自信を身につけるために, 自分を客観的に見つめ, 何が出来て何が出来ないのかを判断し, 自分の信じた道を一途に進み努力して来た道のりが書かれている。また, これから医師を目指す人へのメッセージも多くある。勉強ができただけで, 目標も理想もないまま医者になって社会貢献ができるか。教えられたことで満足するのではなく, その先を見ようとする向上心, 好奇心を持たなければならない。国民の多額の税金のおかげでライセンスの教育を受けることができた医師の命は自分のものではないなど。とにかく何に対しても真摯に取り組む作者の気持ちにふれて今の自分を顧みてほしい。